

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2011年度事業報告書
2011年度 (2011年4月1日～2012年3月31日)

最新の統計によると、児童相談所に寄せられる虐待相談、不登校児童生徒の数、青少年の自死など、神奈川県はいずれも高い値を示し、つらさや悲しみを抱えて生きる子どもや若者が増加している傾向がみられます。特に2011年3月11日の東日本大震災以来、生活に不安を抱え、未来に希望を持たずにいる子ども達が増えています。

そうした子ども達の状況をふまえつつ、神奈川子ども未来ファンドでは、神奈川の子ども・若者・子育て支援の活動を安定的、継続的に行うために組織基盤強化の方向性を模索しつつ活動してきました。

9度目のNPO助成では、今年新たに設けた、東日本大震災の被災者支援枠への応募を含め、9団体へ総額2,980,000円の助成を実施しました。また、夏休みを利用して他のNPOとネットワークを組みつつ、被災者を支援する事業にも取り組みました。恒例となっている11月の虐待防止月間に行うチャリティ朗読劇「ハッピーバースデー」は、実行委員会を組織して横浜で3度目の実施、虐待・いじめ防止を前面に打ち出した会場展示も好評を博しました。

前年より若干上向いたとはいえ、いまだ寄付金収入が厳しい状況が続く中、継続して子どもの支援を行うために認定NPO法人を対象とする税額の寄付金控除等の優遇へのPR等を積極的に行いました。

なお、本年度特筆すべきこととしては、第16回横浜弁護士会人権賞を受賞したことがあげられます。中間支援組織として初めての受賞であったことは、今後の各団体の活動に大きな意味を持つものであると考えられます。

【2011年度事業の概要】

1. 会員の募集事業

正会員76名、準会員80名、子ども応援会員177名・組織(自動払込会員51名含)

2. 寄付の募集事業 寄付金総額 4,259,284円

3. NPO助成・技術支援

3-1 神奈川子ども未来ファンド助成事業の実施

- (1) 2011年度助成贈呈式・報告会の開催(2011年6月4日開催)
- (2) 2011年助成対象団体への技術支援(2011年助成対象で支援を希望した1団体)
- (3) 2012年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催
- (4) 2012年助成対象団体の選考と助成(9団体、助成総額2,980,000円)
- (5) 外部の助成プログラムの選考協力(全労済地域貢献助成事業ほか)

3-2 東日本震災支援関連助成・事業の実施

- (1) 映画「エクレールお菓子放浪記」チャリティ試写会の実施
- (2) 福島子どもたちに楽しい夏休みを～川崎サマースクール

4. 啓発事業

- (1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2011横浜公演の開催(2011年11月26日)
- (2) 講演会や委員会への参加・協力

5. ネットワーク事業

- (1) 市民ファンド連絡会への参加・協力

6. 調査研究事業

- (1) 遺贈・相続による寄付に関わる調査・研究(神奈川県補助事業)

7. 広報事業

- (1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援NPOの支援情報収集と発信
- (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信
- (3) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営
- (4) 広域への情報発信・PR活動(テレビ等での広報7件、新聞タウン誌等報道16件、イベント等参加9件)
- (5) NPOの情報発信支援

8. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

- (1) 通常総会、理事会(4回)、理事懇談会、運営委員会(13回)の開催
- (2) インターン生及び若者の社会体験ボランティアの受入れ

1. 会員の募集

神奈川県子ども未来ファンドの趣旨に賛同しファンドを支える会員として、2010年に設置した「準会員」を中心に、会員制度の広報に努めました。その結果、準会員には、企業個人含めて、93口（前年比+27口）のご支援が集まりました。子ども・若者や子育てを支える活動の継続した支援とファンドの運営基盤強化の観点から、会費納入方法の簡便化等の検討にも着手しました。

【2011年3月31日時点の会員数】

正会員 76名（前年度71名 比+5名）
準会員 80名（前年度66名 比+14名）
子ども応援会員 177名・組織（前年度175名 自動払込会員51名含）

2. 寄付の募集・受け入れ

(1) 2011年度の寄付受け入れに関する各種協力

企業、業界団体からのご寄付のうち、特に職域での親睦会時の募金活動や歳末募金、また、横浜 Wai! Wai! フェスタやヨコハマ・アコースティック・フェスティバルなどのイベントにおける募金活動など、たくさんの方々のご支援や熱い思いの集まりを感じることができました。

(2) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

- ◆ 一般寄付金総額 : 4,226,894円（前年比 +51,134円）
- ◆ ファンド支援寄付金総額 : 32,400円（前年比 △196,732円）
- ◆ 協賛金総額 : 1,971,800円（前年比 △462,490円）
- ◆ 寄付協力組織数 : 延 63企業・団体等
- ◆ 協力個人数 : 延 117名

【一般寄付金の内訳】

補助科目	金額	割合	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	1,666,904	39.4%		15
個人寄付	943,811	22.3%	51	
奉仕組織・NPO等からの寄付	153,762	3.7%		10
歳末寄付	162,000	3.8%	8	2
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	240,650	5.7%	46	
職域での募金、チャリティプログラム	362,330	8.6%		3
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	140,000	3.3%	12	
応援商品寄付	170,970	4.1%		5
募金箱	377,561	8.9%		27
マイバック寄付プログラム	8,906	0.2%		1
合計	4,226,894	100%	117	63

3. NPOへの助成・技術支援

3-1 神奈川県子ども未来ファンド助成事業の実施

(1) 2011 年度助成贈呈式・報告会の開催

助成対象になった事業の紹介と、終了した助成事業の成果を広く広報することを目的に実施しました。

【2011 年助成贈呈式・報告会】

開催日程： 2011 年 6 月 4 日（土）13 時～16 時 30 分
会 場： 日産自動車株式会社グローバル本社 5F プレスルーム
内 容： 2011 年助成対象団体紹介・贈呈式、2010 年助成活動報告

(2) 2011 年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に行い、団体の希望に応じて、専門家とファンド事務局が団体を訪問し相談に応じました。

【相談対応をいただいた専門家】

青木将幸氏（青木将幸ファシリテーター事務所、国際青年環境 NGO・A SEED JAPAN 理事）

(3) 助成対象団体活動訪問会

2011 年の助成対象となった7団体の想いや活動を共有するとともに、各団体のノウハウ等を学ぶことを目的に助成対象団体活動訪問会を行い、団体から活動概要の説明を受けた後、質問、話し合い等を行いました。

第 1 回 ピアわらべ(7 月 26 日)	第 2 回 ひだまりの杜 (7 月 26 日)
第 3 回 てんぼ (9 月 16 日)	第 4 回 (社福)杜の会「森の郷」(9 月 19 日)
第 5 回 ぐるーぶ響(9 月 23 日)	第 6 回 エスコラ アクアレラ ブラジル (10 月 9 日)
第 7 回 学童保育スキップ鷺沼保護者会(9 月 23 日)	

(4) 2012 年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催

各方面の専門家による 2012 年神奈川県子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、2012 年助成を県内 NPO へ広く広報し、助成説明会も行いました。2012 年助成は従来の「一般助成」枠に加えて、東日本大震災の被災者を支援する事業を対象とした「震災支援助成」枠を新たに設けて、募集を行いました。応募受付期間中は、個別団体からの事前相談に応じました。

【2012 年助成選考委員】

委員長：宮林 雄彦氏（大光院代表役員住職）
副委員長：渡辺 誠二氏（一般社団法人ロータリーの友事務所所長）
委員：新井 聡子氏（横浜弁護士会子どもの権利委員会委員）
伊藤 輝子氏（元鶴見大学短期大学部教授）
富樫 匡孝氏（自立生活サポートセンター・もやいスタッフ）

【2012 年助成説明会】

日 時：2011 年 11 月 18 日（金）19 時～20 時半
場 所：かながわ県民活動サポートセンター
参 加 者：8 名

内 容 : 2012年神奈川県子ども未来ファンド助成事業について
 応募のための要件 / 助成が決まるまでと助成を受けてからの流れ、手続き
 助成団体限定で利用できる運営支援について / 事前相談について
 ※終了後に、個別相談会を実施

(5) 2012年助成対象団体の選考と助成

24団体から応募(応募総額総額 15,598,000円)があり、2012年神奈川県子ども未来ファンド助成選考委員会の選考に基づき、総額 2,980,000円を助成することを決定し助成を行いました。

【2012年助成選考委員会開催日時】

日 時 : 2012年2月27日(月) 13時~17時
 場 所 : かながわ県民活動サポートセンター会議室

【2012年助成対象団体一覧】 助成総額 2,980,000円

	団体名	事業名 < >内活動領域	市町村名	助成金額
1	音楽療法 ぐるーぷ響 【継続助成】	<障がい児支援> 音楽療法のための楽器と楽譜購入	厚木市	300,000
2	(社福)杜の会 【継続助成】	<児童養護施設の学習支援> 児童養護施設「杜の郷」算数教室及び 個別支援家庭教師事業と「ふれあい塾」	横浜市	200,000
3	学童保育スキップ鷺沼保護者会 【継続助成】	<学童保育> 地域向けオープンプログラム事業	川崎市	100,000
4	(特)ピアわらべ 【継続助成】	<子育て支援> 法人事務局の強化	横浜市	400,000
5	キララの教室	<外国人(籍)児童・生徒への支援> 外国人(籍)児童生徒への学習支援	横浜市	180,000
6	TIE トマトマの会	<外国人(籍)児童・生徒への支援> トマトマ教室運営 ー外国につながる子ども達のための補習教室ー	茅ヶ崎市	300,000
7	スマイル オブ キッズ	<患者家族支援> 病児のきょうだい児預かり保育	横浜市	800,000
8	(特)のむぎ地域教育文化センター	<震災支援> 若者が打つ和太鼓による支援	横浜市	400,000
9	守りたい・子ども未来プロジェクト 実行委員会	<震災支援> 守りたい・子ども未来プロジェクト 県内被災児童(家庭)の生活支援	横浜市	300,000

(6) 子ども分野の外部助成プログラムへの選考協力

全労済地域貢献助成事業の子ども分野プログラムの予備審査作業などに協力しました。

3-2 東日本大震災支援関連事業の実施

(1) 映画「エクレールお菓子放浪記」チャリティ試写会

この映画の撮影地は震災直前の宮城県石巻市、約 400 人の市民がエキストラとして参加しています。新聞紙上のペア招待へ 545 通の応募がありました。応募ハガキには「美しかった故郷の風景を目に焼き付けたい」、「津波で亡くした家族を偲びたい」とのコメントもあり、企画への感謝の言葉もいただきました。会場募金全額(702,984 円)を「災害子ども支援ネットワークみやぎ」へ。被災地の子どもたちへ、神奈川からのエールを届けることができました。

主 催：福祉を考える会・神奈川子ども未来ファンド
日 時：7 月 16 日(土) 13 時開場 13 時 30 分～15 時 45 分
会 場：関内ホール・大ホール (J R 根岸線 関内駅徒歩 7 分)
参 加 者：約 1,000 名

(2) 福島の子どもたちに楽しい夏休みを～川崎サマースクール

「夏休みこそ、子どもたちを思い切り外で遊ばせてあげたい」「川崎のまちを知って欲しい」との思いから、川崎で様々な活動をしてきた市民や団体が集い、福島の子どもたちを無料招待する川崎サマースクールを企画・実施し、神奈川子ども未来ファンドもこの企画に寄付受入れ団体として参加をしました。

《7 泊 8 日川崎市民プラザコース》

日 時：7 月 31 日(日)～8 月 7 日(日)
会 場：川崎市民プラザ(宿泊)
内 容：こどもの国・夢見ヶ崎動物公園遠足、キリンビバレッジ工場・マリエン見学、私立末長小学校わくわくプラザ・夢パークでの交流会 他

《4 泊 5 日川崎市青少年の家コース》

日 時：8 月 8 日(月)～8 月 12 日(金)
会 場：川崎市青少年の家(宿泊)
内 容：こどもの国遠足、夢パークでの交流会、キャンプファイヤー 他

主 催：「福島の子ども達とともに」川崎市民の会

参加団体：特定非営利活動法人 ぐらす・かわさき／特定非営利活動法人 療育ねっとわーく
川崎／特定非営利活動法人 フリースペースたまりば／認定特定非営利活動法人
神奈川子ども未来ファンド／神奈川骨髄移植を考える会川崎支部／地域から平和を考える会／自治市民かわさき／災害・子どもサポート川崎教職員の会

後 援：川崎市、川崎市教育委員会、伊達市、福島市、福島市教育委員会

協 力：神奈川県ユニセフ協会／川崎市子ども夢パーク共同運営事業体／子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

参 加 者：福島市及び白河市の児童・生徒 33 名

募金総額：34 企業・団体 530 名の個人 3,838,000 円(川崎市民の会受け入れ寄付も含む)

4. 啓発事業

(1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2011 横浜公演の開催

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年に引き続き、様々な組織のご協力、ご協賛を得て「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を横浜で開催しました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演 2011 横浜】

公演日時：2011年11月26日(土)2回公演(昼13時～、夕17時～)

会場：横浜市民文化会館関内ホール(1,102名定員) 横浜市中住吉町4-42-1

主催：朗読劇「ハッピーバースデー」2011横浜公演実行委員会、
(特)神奈川子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、(株)tvkコミュニケーションズ

出演：内海賢二、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、安武みゆき、代永翼、甲斐田裕子、
遠藤大智、岩居由希子、小平有希、小橋知子、西郷由香、秦直樹

演出：二瓶紀六

制作：(有)オフィス・デュオ

原作：『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)

チケット：3,000円(全席指定)

□観客動員

総動員数：1,457名(昼813名/夕644名 親子招待206名含)

運営ボランティア：80名

□募金総額：473,079円(会場募金90,770円、書籍チャリティ販売収益41,338円含)

□親子招待：100組200名を、公募により招待。(昼50組・夕50組)

公募は、横浜市立小中学校全児童生徒への案内チラシを配布して呼び掛けた。
2011年8月10日締切、応募総数は969通。8月16日に抽選を実施し招待者を決定。

□会場展開

ア) こぶしの花(バースデー)メッセージボード：出演者、関係者から子ども達へのメッセージ掲出

イ) 神奈川の子ども・子育て支援団体展示

横浜公演実行委員会参加団体、神奈川子ども未来ファンド助成対象団体、横浜市青少年局の展示

3階ホワイエにおいて「いじめ・虐待防止に関する啓発展示」(トツキトウカ横浜パネル展示)

ウ) 原作本、関連書籍のチャリティ販売、原作者サイン会

エ) 神奈川子ども未来ファンド制作のチャリティグッズ(ステッカー・キーホルダー等)の販売

オ) 神奈川子ども未来ファンドへの寄付、募金活動、入会キャンペーン※

※会場での入会者に朗読劇全出演者のサイン入りプログラムを提供

□広 報

ア) 掲載記事 10件

①朝日新聞(11/5野村道子さん取材記事、11月神奈川マリオンでの告知)

②毎日新聞(11/1憂楽帳、11/15吉富多美さん取材記事、11/27公演報告記事)

③神奈川新聞(11/2Iバザール)

④情報誌ぱど(8/5～11/17 9月後半からはどこかのエリアで頻繁に掲載)

⑤はまかぜ(11/4、11/11)

イ) 紹介メディア :

- ①tvk テレビスポットCM (8/10~11/25)
- ②WEBtvk-bb 内動画コンテンツ
- ③tvk 「ありがとッ! 野村道子さん出演」 (11/7)
- ④FM サルース/青葉区 (11/9)
- ⑤ YOU テレビ/鶴見区 (11/14~20・1日5回計35回)
- ⑥WEB リンク tvk コミュニケーションズ HP 内
- ⑦全国共済テレビジョンでの放映

ウ) チラシ制作枚数 : 370,000 枚(横浜市立小中学校生徒・児童生徒チラシ配布分含)

エ) ポスター制作枚数: 500 枚

□協賛等 (敬称略)

協 力 : (有)オフィス・アオキ、(株)賢プロダクション、(株)tvkコミュニケーションズ、(株)金の星社、
キリンビール(株)、ツルミ印刷(株)、横浜支社、(株)ポンパドウル、横浜新都市交通(株)、
横浜高速鉄道(株)

助 成 : (財)神奈川新聞厚生文化事業団

協 賛 : (株)川口、アフラック首都圏総合支社、(株)ライト、中央労働金庫、タカナシ乳業(株)、(株)
ありあけ、全国共済、大光院、(株)シモジマ、(有)オフィス・アオキ、(株)tvk コミュニケーシ
ョンズ、(株)クラチ、(株)京急百貨店、(株)ポンパドウル、キリンビール(株)横浜支社、昭和
建設(株)、キーコーヒー(株)横浜中央営業所、(株)ガトーよこはま、(株)ダイイチ、日本理化学
工業(株)、(有)カイショー、ツルミ印刷(株)、連合神奈川、全労済神奈川県本部、横浜
人権擁護委員協議会、横浜市私立保育園園長会、横浜労働者福祉協議会、自治
労神奈川県本部、神奈川県教職員組合、横浜市教職員組合、川崎市職員労働組
合、全水労神奈川県支部、鯉淵信也、大槻美沙子、中村訓世、中西晋太郎、古賀
房代、鈴木範雄、山中洋子、田中博明、梅村敏幸、横浜市子ども家庭課有志、ほか
匿名数名

後 援 : 神奈川県、横浜市こども青少年局、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神
奈川県PTA協議会、横浜市PTA連絡協議会、横浜市立小学校長会、横浜市立中
中学校長会、(財)横浜市芸術文化振興財団、(社福)神奈川県社会福祉協議会、(社
福)横浜市社会福祉協議会、横浜市民生委員児童委員協議会、(財)横浜市母子寡
婦福祉会、(財)横浜YMCA、(公財)よこはまユース、神奈川県商工会議所連合会、
横浜商工会議所、横浜弁護士会、公益社団法人商連かながわ、横浜市商店街総
連合会、(社)横浜青年会議所、(公社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協
議会、(株)テレビ神奈川、神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支
局、読売新聞社横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東
京新聞、FMヨコハマ、アール・エフ・ラジオ日本、(株)ぱど

(2) 各種協議会等への参加

昨年に引き続き「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種審議会・委員会にも対応しました。

【講師・パネリスト等】

横浜市立大学「子どもの育ちを社会で支える仕組み」(2011年5月14日)
iSB公共未来塾「子どもの育ちを社会で支える仕組み」(2011年6月25日)
iSB公共未来塾起業論A(2011年7月29日)
iSB 公共未来塾・藤沢「非営利事業の資金調達について」(2011年9月21日)
横浜市体育協会講座「総合型地域スポーツクラブの賢いお金の管理について」
(2011年9月14日)
かながわコミュニティカレッジ NPOマネジメント講座「事務局の役割」
(2011年10月18日)

【各種審議会・委員会】

神奈川の協働を推進する県民会議
バリアフリーの街づくり推進県民会議
横浜市児童福祉審議会委員
横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
横浜市親と子のつどいの広場運営協議会委員
横浜市ボランティアセンター運営委員 ほか

5. ネットワーク事業

NPO、行政、企業などの行事への参画や共催等を行うことにより、連携促進を図るとともに、子どもファンドの意義や役割の周知に努めました。2011年度は特に東日本震災支援に関連するネットワーク事業（前掲P5）に力を注ぎました。また2011年、新たに設立された民間市民ファンドの全国組織「市民ファンド連絡会」へも参加し、活動紹介を行いました。

(1) 市民ファンド連絡会設立記念フォーラム

日時：2011年6月30日(木)14時30～17時30

場所：在日本韓国YMCAアジア青少年センター 国際ホール

テーマ：事例を通じて学ぶ市民ファンド基礎講座

内容：市民ファンドの仕組み、ファンドレージング、助成に関する報告と意見交換
事例紹介(神奈川県子ども未来ファンド他5事例)

6. 調査研究事業

(1) 遺贈・相続による寄付の仕組みに関する調査研究

(神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課補助事業)

2011年改定された寄付税制の下での特定非営利活動法人の新たな資金獲得手法の模索、開発を行うことを目的として、今まであまり積極的に行われてこなかった遺贈、相続等による寄付の仕組みに関して調査・研究を実施しました。そして、「新たな手法検討委員会による検討」「全国の事例調査一覧及び調査結果からの考察」、「今後の課題」等を報告書にまとめました。

7. 広報事業

(1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援NPOの支援情報収集と発信

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際し、県内NPOによる様々な取り組みの情報収集と発信、被災地支援の募金活動等の広報支援を行いました。また、被災地から神奈川県内へ避難してきた子ども・若者や乳幼児親子に対し、県内のNPOによる支援活動の情報を避難所で提供しました。

(2) NPOデータベースの運営

2011年5月にデータベース更新チームを立ち上げ、神奈川県内の子ども・若者や子育てを支えるNPOを検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱（以下「情報箱」）」の更新に努めるとともに、昨年開設した、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの連携促進を目的とする「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」の管理・運営に努めました。

◆データベース「子どもの居場所情報箱」

<http://www.kodomofund.com/search/index.html>

◆データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」

http://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm

(3) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信

年4回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や、寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを行いました。また、ブログやツイッターを活用した、日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。

◆メールマガジン 月間+特別号 計13回発行

◆広報紙「ハンズ to ハンズ」30号(3,000部)・31号(2,500部)を発行

◆ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/>

◆ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

(4) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

ア) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

昨年度に引き続き、神奈川子ども未来ファンドWEBサイト・携帯モバイルサイト、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を運営し、子ども・若者や子育ての支援を行うNPOの活動情報、各種非営利イベント情報、NPOを対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めました。

◆WEBサイト 年度末カウント数(2011年3月31日現在)169,591(年間28,882カウント)

◆ポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」 <http://www.kodomofund.com/portal/>

イ) 地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクトへの参加

NPOへの支援や連携、利用を促していくために、NPOの信頼性を高める取組みとして、全国の約20の中間支援組織が連携して各地で設置を進める地域・公益ポータル推進プロジェクトの関東ブロック会議に参加し、神奈川子ども未来ファンドの活動の紹介を行いました。

(5) イベント・キャンペーンでのPR活動

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等にファンドの認知が高まるよう取り組みました。

【展示・広報・出店等での参加】

7) モトスミ・ブレーメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント

開催日程： 2011年5月5日（水）

会 場： モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）

参加内容： 綿飴の販売 ボーリングミニゲーム、活動紹介、募金活動

主 催： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

8) 2011児童労働撲滅キャンペーンin神奈川

開催日程： 2011年5月22日（日）

会 場： 横浜そごう新都市プラザ（横浜市西区）

参加内容： 広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布 パワーポイントによる子どもファンドの紹介

主 催： N T T労働組合

9) フリフリフリマ（青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動）

開催日程： 2011年9月19日（土）

会 場： 神奈川県立青少年サポートプラザ（横浜市西区）

参加内容： ボウリングミニゲーム、募金活動、活動紹介

主 催： 同実行委員会

10) モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマーケット

開催日程： 2011年10月2日（日）

会 場： モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）

参加内容： 商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街オリジナルストラップ販売、活動紹介、募金活動

主 催： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

協 力： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

11) YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 2011

開催日程： 2011年10月22日（土）

会 場： 横浜港 象の鼻地区（横浜市中区）

参加内容： Song for smileフラッグの作成、ステッカーの販売、子どもや親子の記念写真撮影、活動紹介

主 催： YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL実行委員会

12) ヨコハマWaiWaiフェスタ

開催日程： 2011年10月30日（日）

会 場： 横浜大通り公園（横浜市中区）

参加内容： 募金活動

主 催： 同実行委員会（事務局横浜市労働者福祉協議会）

キ) 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー

開催日程： 2011年10月30日（日）

会 場： 山下公園（横浜市中区）

参加内容： 虐待防止のメッセージキルトブースを運営

主 催： 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会

ク) 第21回ダンボふれあいバザー

開催日程： 2011年11月23日（祝）

会 場： 作業所ダンボ周辺（横浜市保土ヶ谷区和田町）

参加内容： ブース運営 募金活動

主 催： 地域作業所ダンボ・福祉を考える会

ケ) 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程： 2012年1月28日（土）

会 場： マリノスタウン（みなとみらい地区 新高島町）

参加内容： ボウリングミニゲーム、活動紹介、募金活動

主 催： 横浜マリノス株式会社

(6) 広域への情報発信・PR活動(ラジオ出演1件、新聞タウン誌等報道 17 件、イベント等参加 9 件)

【紹介されたメディア】

1) 朝日新聞(2011年6月20日付)

内 容：エクレール・お菓子放浪記開催に関する記事

2) 神奈川新聞(2011年6月21日付)

内 容：エクレール・お菓子放浪記開催に関する記事

3) 神奈川新聞(2011年8月11日付)

内 容：福島の子に「夏の思い出」、市民の会がサマースクールに招待/川崎

4) ヨコハマ経済新聞/ネット配信(2011年10月18日)

内 容：「ヨコハマアコフェス」広報に関する記事

5) 朗読劇「ハッピーバースデー」横浜公演開催に関する記事 10件（詳細は5ページ記載）

6) 朗読劇「ハッピーバースデー」横浜公演開催に関する放送 7件（詳細は5ページ記載）

7) 毎日新聞(2012年2月14日付)

内 容：人権賞受賞に関する記事

8) 神奈川新聞（2012年2月14日付）

内 容：人権賞受賞に関する記事

8. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

(1) 通常総会、理事会（4回）、理事懇談会、運営委員会（13回）の開催

神奈川子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び理事懇談会、運営委員会を開催しました。

7) 通常総会

日 時： 2011年5月30日（月）19時～20時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 2010年度事業報告について、2010年度収支計算書について、
2011年度事業計画について、2011年度収支予算書について
2012年助成選考委員について

1) 理事会

①第1回

日 時： 2011年5月9日（月）19時～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 2010年助成事業報告について、2010年度事業報告案・決算案について
2011年度事業計画案・収支予算案について、2012年助成選考委員候補者について、2011年度通常総会について

②第2回

日 時： 2011年8月31日（金）18時半～21時
場 所： 横浜市市民活動支援センター4F セミナールーム2
議 題： 2011年度事業と事務局体制について 助成の募集要項について

③第3回

日 時： 2012年2月2日（木）19時～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 2011年度事業の進捗状況、2012年度事業の方針について

④第4回

日 時： 2012年3月22日（木）18時半～21時
場 所： 神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ
議 題： 2012年助成対象団体の決定、2013年助成選考委員について（方針の承認）、2011年度 決算見込及び2012年度事業計画案・収支予算案について 2012年度通常総会、2012年度助成贈呈式・報告会の開催について

2) 理事懇談会

日 時： 2011年12月25日（日）18:30～21:00
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 神奈川子ども未来ファンドの事務局体制について

3) 運営委員会（全13回）

2011年4/14、5/26、6/9、7/14、8/11、9/22、10/27、11/10、12/8、12/22
2012年1/12、2/23、3/8

(2) インターン生及び若者の社会体験ボランティアの受入れ

ア) 夏季大学インターン生の受入れ（7～9月）

アクションポート横浜のプログラムに協力し、1名のインターン生の受け入れを行い、「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動などの活動体験をしてもらいました。

イ) 若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ（通年）

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受け入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動に参加してもらいました。